

# TEX

## 入稿注意マニュアル

中央印刷株式会社

以下は TEX の原稿を入稿いただく際の注意点です。不明な点がございましたら、当社営業担当までご確認ください。

### 1 原稿入稿について

#### 1.1 使用したクラス、スタイル、マクロの添付をお願いします。

TEX には、いろいろなバージョンのフォーマットが存在します。これはクラスファイルやスタイルファイルについても同様ですが、処理する時にそれを自動的に判別することはできません。

バージョンの違いによる不具合を防止するため、できるだけ使用しているクラスファイル・スタイルファイルを添付してください。また、自作のマクロファイルも、必ず添付していただきますようお願いいたします。

使用していないデータ、スタイル、マクロの添付は、混乱防止のためにも極力避けてください。

#### 1.2 マクロ・スタイルは TEX 標準のもの・統一されたものをお使い下さい。

見た目が見出しや数式のように組まれていても、ソースを開くと該当する環境で作られていないものがあります。

また、複数の著者が執筆されているデータは、各ファイルごとにマクロが設定され、中には同じコマンド名で、別の処理をするようになっているものもあります。

こういったデータは統一して修正するのが非常に困難です。できるだけ TEX の標準的なマクロ・統一されたマクロやスタイルをご使用願います。



### 1.3 索引の入力指示は明確にしてください。

索引は、ソートキーの入力の方法によって並び方が異なってきます。例えば `\index{TeX}` とすれば欧文の T で並び、`\index{テフ@TeX}` とすれば、和文のテで並びます。

また、音引き（－）の有無によっても同様です。

● ソート前		● ソート後
<code>\index{パ@パ}</code>	(1)	(2) ハ
<code>\index{ハ@ハ}</code>	(2)	(3) パ
<code>\index{パ@パ}</code>	(3)	(1) パ
<code>\index{パー@パー}</code>	(4)	(4) パー
<code>\index{パー@パー}</code>	(5)	(5) パー
<code>\index{パツ@パツ}</code>	(6)	(10) ハーツ
<code>\index{ハツ@ハツ}</code>	(7)	(9) パーツ
<code>\index{パーツ@パーツ}</code>	(8) →	(8) パーツ
<code>\index{パーツ@パーツ}</code>	(9)	(14) パーディー
<code>\index{ハーツ@ハーツ}</code>	(10)	(13) パーティー
<code>\index{パティ@パティ}</code>	(11)	(7) ハツ
<code>\index{パテ@パテ}</code>	(12)	(6) パツ
<code>\index{パーティー@パーティー}</code>	(13)	(12) パテ
<code>\index{パーティー@パーティー}</code>	(14)	(11) パティ
<code>\index{パティ@パティ}</code>	(15)	(16) パディー
<code>\index{パディー@パディー}</code>	(16)	(15) パティー

( ) 内の数字は、出現順とソート後の並び順の変化を示す

当社にて項目を入力する場合には、ソート後のイメージも考慮の上、入力の指示をお願いいたします（数字・欧文・和文を全て分ける、全てを一括して索引とする、等の並べ方のイメージでも結構です）。

## 2 画像データについて

### 2.1 eps 形式で保存して下さい。

画像の取り込みは、eps 形式のデータで行っています。保存する場合には、eps 形式を選択し、プレビューはなしにしてください。

Illustrator や PhotoShop で作られたデータは、修正・加工・出力が可能ですが、その他のアプリケーションで作成して eps 変換したデータは、eps であっても修正できなかつたり、また DVI では表示されても出力できなかつたりする場合があります。ご注意ください。



## 2.2 画像データは 100% で取り込んでください。

TeX は本文中で画像の拡大・縮小が可能です。しかし、元々 1pt の太さの線で描かれているデータを 10% に縮小した場合、出力される線の太さは 0.1pt になってしまいます。このような線は、普通紙では出力できてもフィルムを出力する段階で再現できません。

当社で美しく再現できる最低の線の太さは 0.2pt (0.07mm) です。安全のためにも、画像は仕上がりサイズで作成し、TeX 上で拡大・縮小をかけずに取り込んでください。

## 2.3 文字はできるだけアウトライン化してください。

当社は Illustrator Ver.8 から CS2 までを用意していますが、使われているフォントがないために、開いたときに文字化けするデータも多々ございます。

また、普通紙では再現できても、最終出力の段階でフォントがエラーになって出力できなくなるケースもあります。

これを完全に防ぐためには文字のアウトライン化が一番早い解決方法です。もし修正が発生した場合には、類似のフォントで代用させていただきますので、ご了承願います。

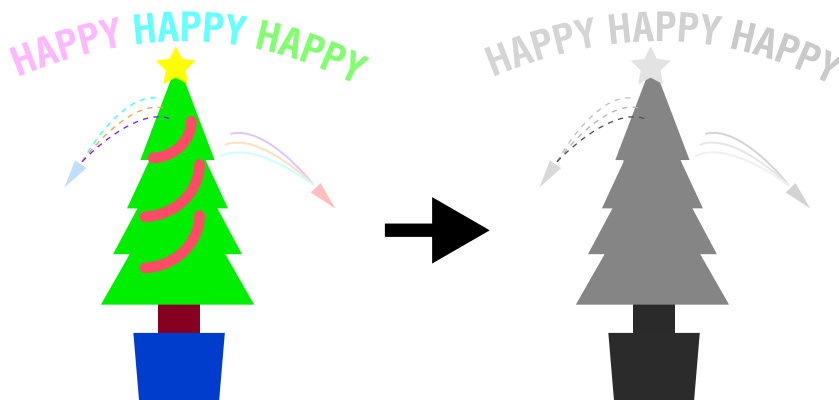
## 2.4 1色印刷は1色、カラー印刷はCMYKで作成して下さい。

1色にて印刷する場合、カラーで支給いただいたデータは、機械的な処理にて1色に変換させていただきます。この場合、色の区別ができなくなる可能性がございます。

特に折れ線グラフのようなものは、0.2pt で描かれていても色が薄いと判別がつかなくなったり、線自体が見えにくくなってしまいます。

● CMYK カラー

● グレースケール  
(1色に変換したもの)





1 色印刷の場合は、極力モノクロのデータの支給をお願いいたします（当社から出校する普通紙の 1 通は、カラーの設定で出力いたします。そこでご確認していただき、どうするかを指示いただいてもかまいません）。

カラーの場合は印刷用に CMYK 形式で作成したデータを支給して下さい。デジタルカメラで撮影されたものは RGB のデータです。CMYK は RGB より色域が狭いので、出力結果が違ってきます。

（作成：中央印刷株式会社 CTS 部）